

2021年度 長崎大学大学院多文化社会学研究科 入試概要

出願前に必ず希望する指導教員と事前に連絡を取り、受験や研究内容・指導言語について十分相談しておく必要があります。

指導教員の連絡先がわからない場合は、6ページのQRコードからご確認ください。

■ 博士前期課程 (入試区分: 一般入試、外国人留学生入試)

専攻名称	入学定員	学位名称
多文化社会学専攻 Department of Global Humanities and Social Sciences	10名 ※全ての入試区分を含む	修士(学術) Master of Arts

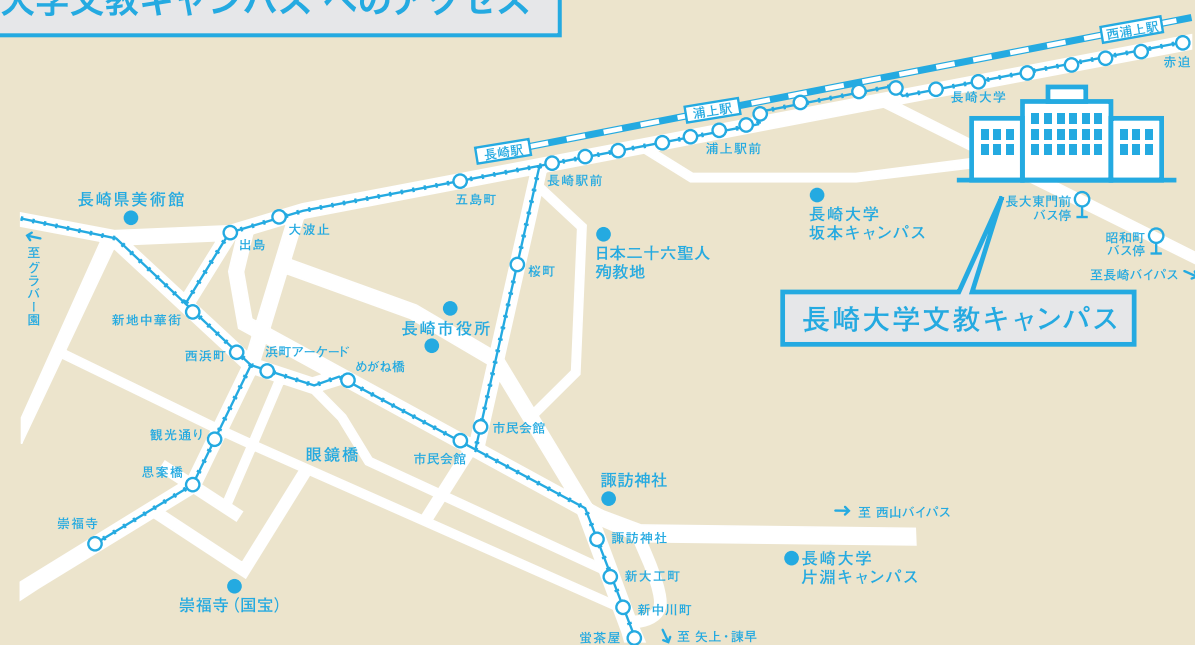
	2020年7月期募集	2021年2月期募集
出願期間	2020年5月25日(月)～5月29日(金)17:00	2020年12月7日(月)～12月11日(金)17:00
試験日	2020年7月23日(木・祝)	2021年2月16日(火)
選抜方法	筆記試験: 専門科目(人文社会科学系)	
	筆記試験: 外国語(英語) ※外国人留学生の場合は「日本語」	筆記試験: 外国語(英語) ※外国人留学生の場合は「日本語」
	口述試験: 面接 ※研究計画書等に基づく試験	口述試験: 面接 ※研究計画書及び卒業論文等に基づく試験

■ 博士後期課程 (入試区分: 一般入試、社会人入試、外国人留学生入試、進学者選考)

専攻名称	入学定員	学位名称
多文化社会学専攻 Department of Global Humanities and Social Sciences	3名 ※全ての入試区分を含む	博士(学術) Doctor of Philosophy

	2021年1月期募集
出願期間	2020年12月7日(月)～12月11日(金)17:00
試験日	2021年1月30日(土)
選抜方法	口述試験: 出願書類の内容審査を行う口頭試問

長崎大学文教キャンパス へのアクセス



長崎大学大学院 多文化社会学研究科



NAGASAKI UNIVERSITY

Graduate School of Global Humanities and Social Sciences

ごあいさつ



研究科長 滝澤 克彦

いま我々が生きているのは、どのような世界なのでしょう。そして、その世界はどこへ向かっているのでしょうか。

現在の世界は、あらゆる領域で加速度的にグローバル化が進み、越境的な結びつきをますます強めています。そのつながりは極めて複雑に絡み合っているため、ある地域で生じた問題が、地球上のはるか離れた場所で、予測もつかない深刻な事態をひき起こすことも珍しくありません。そこには、差別や紛争、貧困や病気といった古典的な問題だけでなく、原子力や情報技術、人工知能や生命科学といった新たな知識や技術の導入にともなう課題も含まれます。

当然、これらの問題は技術によって克服されるべき部分もありますが、一方で人間的・社会的な要因が深く関わっていることも少なくありません。特に、問題を回避、解決しようとする人間の欲求や行動自体が、予測もできない新たなリスクを生み出すような複雑な連関を理解するためには、生きることの価値や意味といった根源的な問いを改めて見つめ直す必要があるのです。

本研究科の掲げる「多文化社会学」は、このような課題に取り組む新たな人文社会科学の確立へ向けて、異なる専門領域を横断的につなぎ、現代社会を越境的かつ俯瞰的な観点からとらえる知のあり方を模索します。そのためには、自らの専門的立場を自明のものとするのではなく、自らの知と世界を関係を相対化し、異なる分野との境界を往還しながら世界に対する理解を深めていく学びが求められます。

博士前期課程の「学問のエレメンツ」と「学問のプラクティス」という枠組みは、その一つの試みです。2020年3月にその第一期生が修了し、4月からは博士後期課程がスタートしました。これからも学際的、国際的ネットワークを積極的に活用しながら、さらなる飛躍へと挑んでいかなければなりません。そのために、本研究科は、ますます多くの機関との連携を築きつつあります。この予測もつかない、一方で可能性にも開かれた未知なる世界へ、新たな一歩をともに歩み出してみませんか。

教育理念・目標

長崎大学は、「長崎に根づく伝統的文化を継承しつつ、豊かな心を育み、地球の平和を支える科学を創造することによって、社会の調和的發展に貢献する」という理念を掲げ、これを実現するために「現場に強い、危機に強い、行動力のある」人材を育成し、21世紀の知的基盤社会をリードすることを目指しています。そのための重要教育目標の一つは、グローバル化時代の国際的な現場でリーダーシップを発揮することのできる人材を育成することです。

博士前期課程では、「学問のエレメンツ」と「学問のプラクティス」の学問上における「連携・統合・展開」（理論から応用にいたるプロセスと双方の有機的な連携）を通じて、多文化社会学を〈学〉として深化させるとともに、その修得を図ります。そして、多文化社会学の修得を通じて、文化的他者への理解や共感をベースに、多様な文化や社会、理念や利害を洞察し、異なる知や人を横断的に繋ぎ、越境的かつ俯瞰的な見地から、21世紀の多文化社会的状況における諸問題の発見・説明・予測・解決に取り組むことのできる人材を育成します。

また、博士後期課程では、博士前期課程で身につけた多文化社会学の「学問のエレメンツ」と「学問のプラクティス」の統合と展開を更に進め、多文化社会学の更なる高度化と専門化をより一層図ることで、研究者として自立できる独創的な知見と能力及び高度に専門的な職業に従事できる卓越した能力を養成します。

学外連携機関の紹介



国際基督教大学 (ICU)

2019年3月、人間性の全体的な発達と人格の成熟を目指す「リベラルアーツ 教育」に力を入れ、日本の大学の国際化を牽引してきた国際基督教大学 (ICU) と包括的連携協力に関する協定を締結しました。これを契機としたオンラインによる遠隔授業の相互提供や単位互換 (博士前期課程)、平和学、長崎の被爆・世界遺産の歴史文化学等の研究交流により、充実した教育・研究環境が整っています。

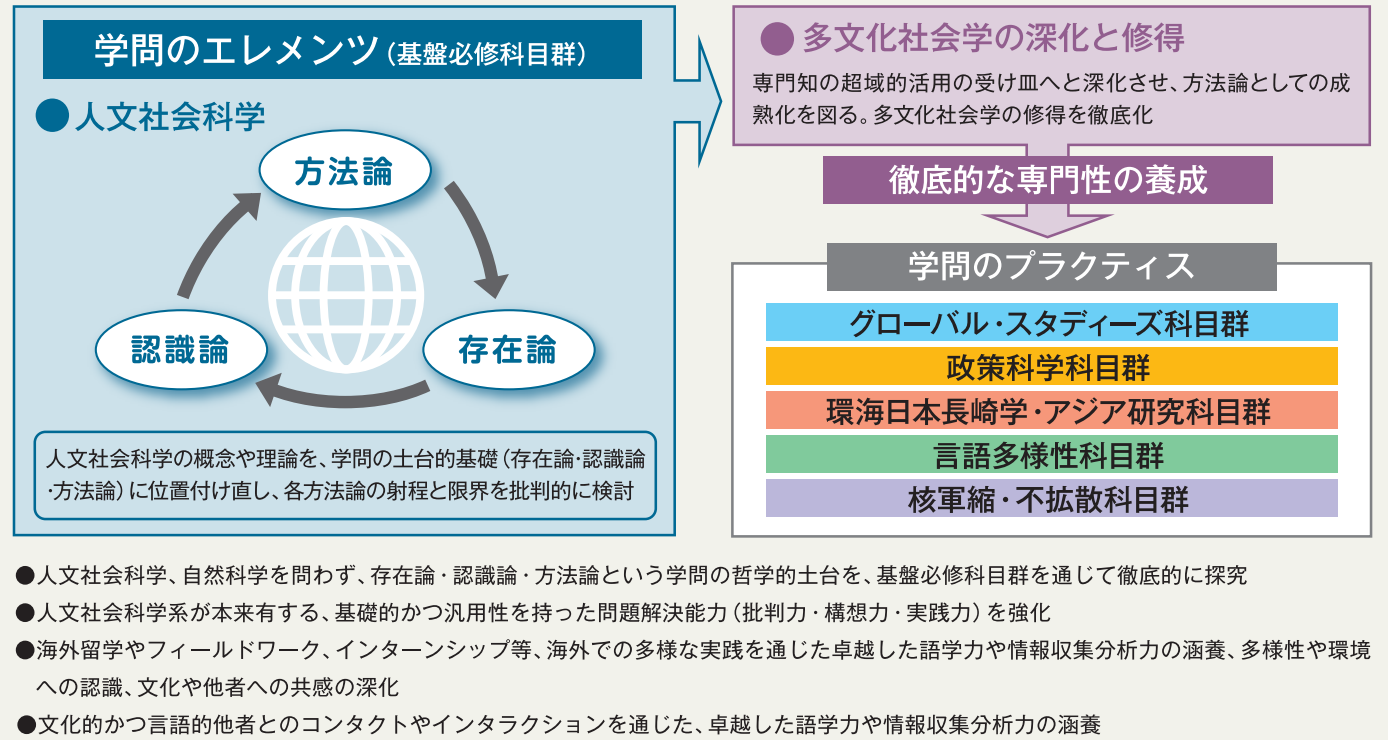


ライデン大学

国際的な研究を重視し、人文科学、自然科学、社会科学のいずれの分野においても世界屈指の教育・研究力を誇るライデン大学とは、学部間ではすでに創設時より交換留学等による交流を継続して実施しています。研究科においても教育・研究交流の促進を図り、今後ますますの連携を予定しています。

【博士前期課程】

■ 教員・学生がともに創る新たな学問としての多文化社会学



■ 世界トップクラスの研究図書館・博物館等との連携



- 国立歴史民俗博物館の特有の専門知を有する研究者からの研究指導、長崎大学東京サテライトとしてサマースクールやセミナーを実施
- アジア・長崎からのグローバル・ヒストリーの捉えなおしを通じた、オリエンタル・スタディーズ分野の世界的リーダーの養成

国立歴史民俗博物館における【総合資料学】の実践



大学・博物館などが持つ資料を多様なかたちで分析・研究する「総合資料学」を、千葉県佐倉市の国立歴史民俗博物館にて、9月上旬に4日間の集中講義として開講します。博物館のありかたや、展示方法およびその背景にある研究成果について総合展示や膨大な収蔵資料・データベースを通して学んだ上で、各自対象とする「もの」資料あるいは事象を選び、専門家の助言を基に総合的に分析し、実際に展示構成のプレゼンテーションを行います。資料単体では得ることのできない情報をさまざまな視点からアプローチして引き出し、研究的資源として幅広く活用し表現する能力は、歴史学の分野に限らず、人文情報学の知識とスキルとして欠かせないものです。

■ 教育職員免許状の取得について

高等学校教諭一種免許状 (英語) を有する者は、本研究科博士前期課程において所定の単位を修得すれば、高等学校教諭専修免許状 (英語) を取得することができます。

■ 長期履修制度

標準修業年限での修学が困難な事情にある者 (①職業を有し、就業している者 ②家事、育児、介護等に従事している者 ③障がいのある者等) については、標準修業年限に納付すべき授業料で標準修業年限の2倍までの履修期間を申し出て認定を受けることができます。



想定する入学者

○人文社会科学系の学部卒業生

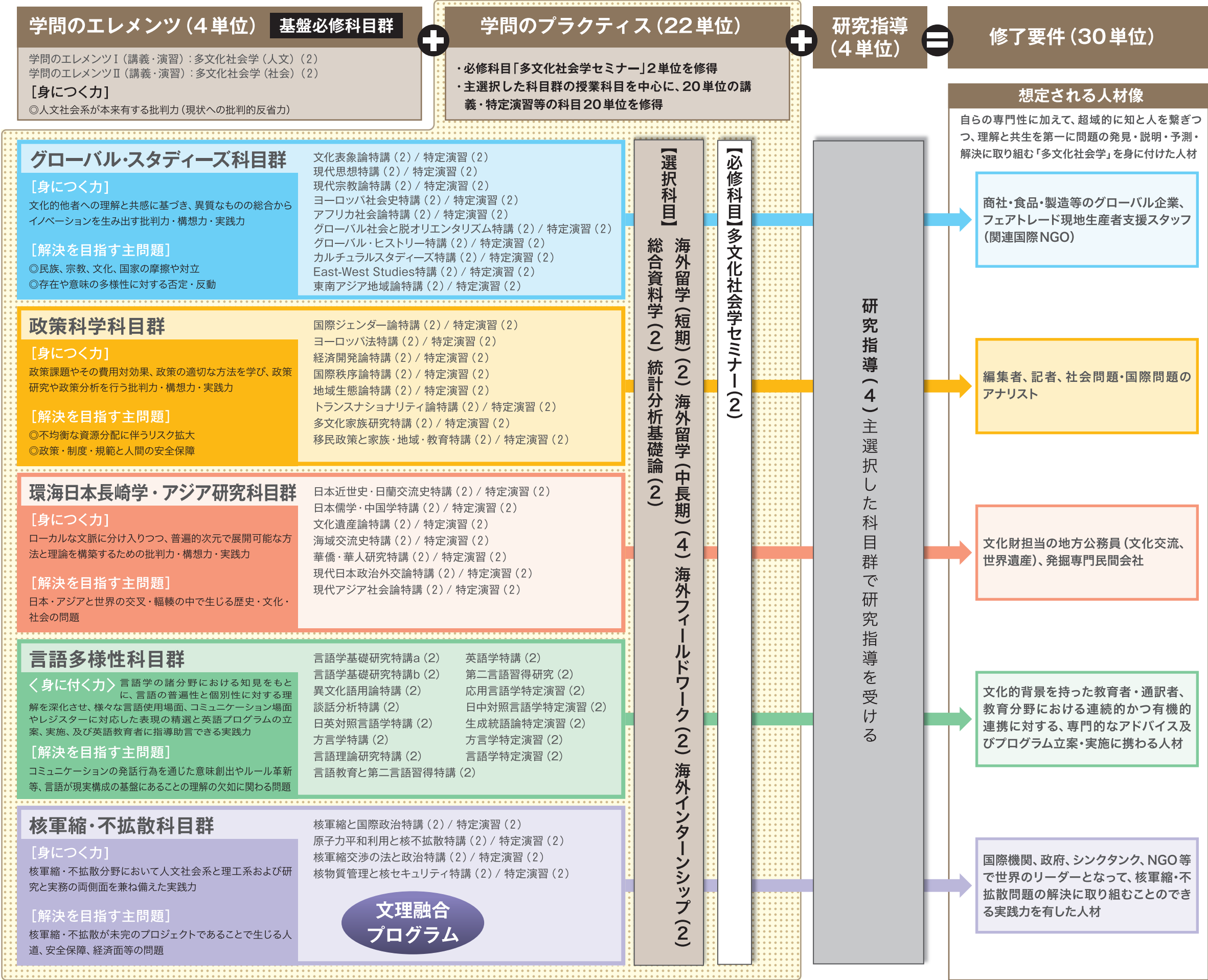
○外国語学部・国際系学部卒業生

○理系学部・大学院卒業生

○日本学やアジア研究に関心のある留学生

○環海日本長崎学・アジア研究に関心のある社会人

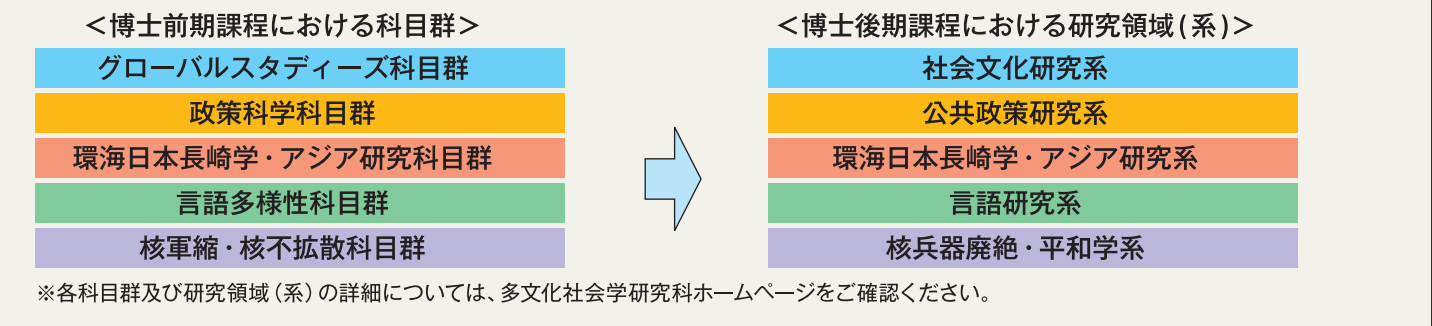
○高度実践力を伴う専門的職業人をを目指す社会人



【博士後期課程】

■ 各研究領域における更なる専門化と体系化

21世紀社会の「多文化社会的状況」における、より一層高度な「問題本質を見極める力」及び「問題解決に向けた多様な解を提示する力」を養うため、5つの研究領域（系）を編成する。



■ 多文化社会学にふさわしい学際性の担保

研究指導は、主指導教員とは異なる研究領域（系）の副指導教員1名を含む3名の研究指導チームにより行います。必要に応じて学生の研究テーマを考慮して学外の連携機関から学外アドバイザーを選出します。

（学外アドバイザーを選出する主な国内外研究機関）
ライデン大学、国際基督教大学、東洋文庫、国立歴史民俗博物館等



東洋文庫 モリソン書庫

【卓越大学院プログラム】

アジアユーラシア・グローバルリーダー養成のための臨床人文学教育プログラム
Applied Humanities Program for Cultivating Global Leaders

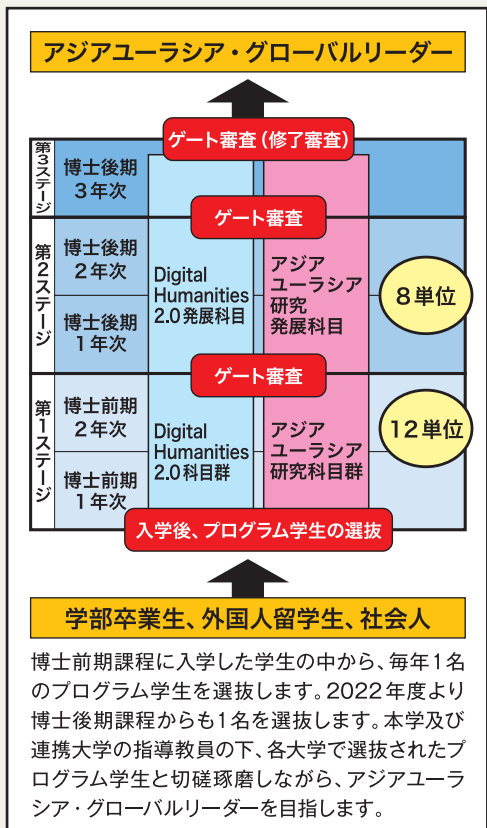
■ プログラム概要

本プログラムは、人文科学の発想を基礎に据えながら、進化したDigital Humanitiesの方法を融合し、人間社会における未知の事態に対して指針を示し得る、刷新された人文的学知Humanities Innovationに基づく大学院教育プログラムを「臨床人文学」という概念で位置づけ、アジアユーラシアを主とした国内外の多様な機関との横断的連携ネットワークによる「臨床人文学」の学びをととして、現代社会の課題に対して、しなやかな文化的想像力と文理融合的な俯瞰的学知に基づいて多様な存在と協働し、ダイバーシティ社会を主導していくトップマネジメント人材を養成する、5年一貫の博士課程学位プログラムです。

【連携先機関】千葉大学（◎主幹校）、岡山大学、熊本大学、総合研究大学院大学、国立歴史民俗博物館、浙江工商大学東方語言文化学院（中国）、ロシア人文学大学東洋古典学研究所（ロシア）、イオン株式会社、公益財団法人イオン環境財団、株式会社JTB総合研究所、千葉銀行

■ プログラムの特徴

- ◎本プログラムは、文部科学省「卓越大学院プログラム」事業が支援する学位プログラムです。
 - ◎アジアユーラシア研究とDigital Humanities 2.0を2本柱とした5年一貫型のカリキュラムを学びます。講義・演習科目の他、アジアユーラシアでのフィールド・リサーチやプログラム学生を一同に会した合同コロキウムを開催します。
 - ◎連携5大学による機関横断型指導教員チームで指導します（主指導：在籍大学教員、副指導：連携大学教員）。
 - ◎研究科の修了要件単位数に加えて、プログラム修了に必要な単位を修得します（博士前期：12単位、博士後期：8単位）。
 - ◎修了者の学位記に、プログラムを修了したことを付記します。
 - ◎原則、プログラム学生にRA経費等の経済支援を行います。
※本学の財政状況により変更の可能性がございます。
- 卓越大学院の詳細については、多文化社会学研究科ホームページをご確認ください。



Pick Up!

知識と経験を“深化”させてくれる教員と学びとの出会い

各教員のプロフィールや研究テーマについて、詳しくは大学院のWEBサイトをご覧ください。



（M：博士前期課程担当、D：博士後期課程担当） ◎：主な研究テーマ

M/D SAITSU, Yumiko 才津 祐美子 教授 ◎民俗学 ◎文化資源論	M/D SAIHANJUNA 賽漢卓娜 准教授 ◎家族社会学 ◎移民研究	M/D SUZUKI, Akiyoshi 鈴木 章能 教授 ◎比較文学 ◎英米・英語圏文学	M/D SUZUKI, Tatsujiro 鈴木 達治郎 教授 ◎原子力平和利用、 ◎核軍縮・核不拡散	M/D TAKIZAWA, Katsuhiko 滝澤 克彦 教授 ◎宗教学 ◎モンゴル研究	M/D NAKAMURA, Norihiro 中村 則弘 教授 ◎国際社会学 ◎社会変動論
M/D NISHIHARA, Toshiaki 西原 俊明 教授 ◎コーパス言語学、 ◎応用言語学	M/D NOGAMI, Takenori 野上 建紀 教授 ◎水中考古学 ◎海上交易史	M/D HAZAMA, Itsuhiro 波佐間 逸博 教授 ◎文化人類学 ◎アフリカ研究	M/D HAYANAGI, Kazunori 葉柳 和則 教授 ◎文化表象論 ◎文化社会学	D HARIKAI, Aya 針貝 綾 教授 ◎西洋美術史	M/D MORIKAWA, Yuji 森川 裕二 教授 ◎国際政治学 ◎東アジア国際関係
D MAEDA, Keiko 前田 桂子 教授 ◎日本語学・方言史	M/D YANG, Xiaoan 楊 晓安 教授 ◎実験音声学 ◎統語論	M/D YOSHIDA, Fumihiko 吉田 文彦 教授 ◎核軍縮・核不拡散、 ◎軍備管理条約	D YOSHIDA, Yuri 吉田 ゆり 教授 ◎発達臨床心理学・ ◎発達支援と施策研究	M REN, Seikichi 連 清吉 教授 ◎中国思想、 ◎日本近代中国学	M/D WANG, Wei 王 維 教授 ◎移民／マイノリティ研究
M/D AZUMA, Fumihiko 東 史彦 准教授 ◎EU 法学 ◎国際経済法学	M IWAMOTO, Keiko 岩本 佳子 准教授 ◎歴史学 ◎オスマン朝史研究	D OHIRA, Teruhisa 大平 晃久 准教授 ◎文化・社会地理学	M/D CUTRONE, Pino カトロニ ピノ 准教授 ◎応用言語学 ◎語用論	M KAWAMURA, Arinori 河村 有教 准教授 ◎アジア法 （人権／ジェンダー／平和） ◎刑事法学	M/D GUELBEYAZ, Abdurrahman ギェルベヤズ アブドゥルラッハマン 准教授 ◎記号論 ◎文化理論
D KIRA, Fumiki 吉良 史明 准教授 ◎日本近世文学 ◎日本思想史	M/D KOMATSU, Satoru 小松 悟 准教授 ◎開発経済学 ◎環境経済学	M/D COMPEL, Radomir コンペル ラドミール 准教授 ◎比較政治学 ◎日本政治史	M SHIRAI, Shoji 白井 章詞 准教授 ◎キャリア教育	M/D TANIGAWA, Shin-ichi 谷川 晋一 准教授 ◎生成統語論 ◎理論言語学	D NAKAJIMA, Yuri 中島 ゆり 准教授 ◎教育社会学
D HATANAKA, Taiji 畑中 大路 准教授 ◎教育経営学 ◎教育行政学	M/D HARADA, Souichirou 原田 走一郎 准教授 ◎方言学 ◎記述言語学	M/D HOSODA, Naomi 細田 尚美 准教授 ◎文化人類学 ◎移民研究	M/D MINAMI, Makoto 南 誠 准教授 ◎歴史社会学 ◎国際社会学	M/D MIHARA, Reiko 見原 礼子 准教授 ◎教育社会学 ◎比較教育学	M/D MORI, Motonao 森 元斎 准教授 ◎哲学 ◎現代思想